

一関市病院事業経営強化プラン の方向性について

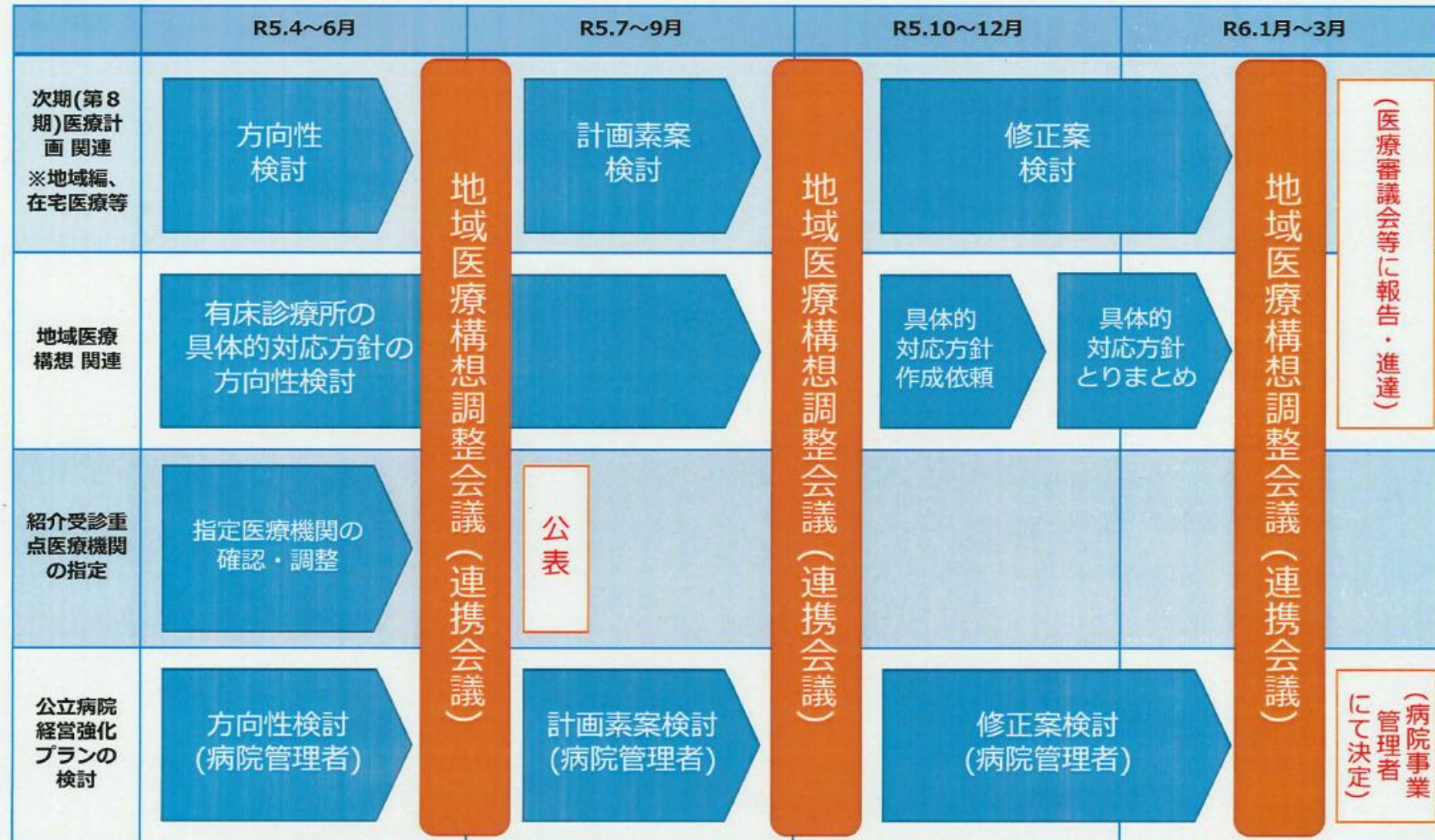
一関市病院事業/藤沢病院

(5) 来年度の地域医療構想調整会議(連携会議)における 主な検討事項

2023年2月の地域医療を守る懇談会
(書面開催) 資料

一関市病院事業として
も右のスケジュールに
合わせて策定を進める

■ 令和5年度 スケジュールイメージ



- ・ 地域医療構想との整合性
- ・ 地域で連携が必要な事項の意見交換

- ・ 介護事業を含む計画
- ・ 計画期間は2024年~2033年の10年

- ・ 素案は9月末を目途

- ・ 住民や関係者との意見交換を10月~11月に行う

- ・ 2月末までに修正

- ・ 策定は3月

ガイドラインが求めるプランの内容

公立病院経営強化プランの内容

(1) 役割・機能の最適化と連携の強化

- ・ 地域医療構想等を踏まえた当該病院の果たすべき役割・機能
- ・ 地域包括ケアシステムの構築に向けて果たすべき役割・機能
- ・ **機能分化・連携強化**

各公立病院の役割・機能を明確化・最適化し、連携を強化。特に、地域において中核的医療を行う基幹病院に急性期機能を集約して医師・看護師等を確保し、基幹病院以外の病院等は回復期機能・初期救急等を担うなど、双方の間の役割分担を明確化するとともに、連携を強化することが重要。

(2) 医師・看護師等の確保と働き方改革

- ・ **医師・看護師等の確保**（特に、不採算地区病院等への医師派遣を強化）
- ・ 医師の**働き方改革**への対応

(3) 経営形態の見直し

(4) 新興感染症の感染拡大時等に備えた平時からの取組

(5) 施設・設備の最適化

- ・ 施設・設備の適正管理と整備費の抑制
- ・ デジタル化への対応

(6) 経営の効率化等

- ・ 経営指標に係る数値目標

一関市病院事業の方向性

(1) 果たすべき役割

- ・ 藤沢地域唯一の医科医療機関として、初期救急から入院、在宅を含めた医療の提供
- ・ 自ら運営する介護事業等を含め、地域包括ケアシステム機能が発揮されるための中心的な役割

(2) 人材確保と働き方改革

- ・ 医師はもとより、医療職や介護職等、様々な人材の確保が難しい現状がある
- ・ 働き方改革の時間外上限規制は、A水準

(3) 経営形態の見直し

- ・ 介護事業を含めて地方公営企業法を全部適用しており、今後も一体的な運営を継続
- ・ 独立行政法人化などについても検討を継続

(4) 感染症への取組

- ・ 感染症法による医療措置協定による対応

(5) 施設・設備の最適化

- ・ 施設、設備の長寿命化に取り組み過大投資とならないように努める
- ・ CT(64)、MRI(1.5T) を有し、画像管理加算 2 を取得している
- ・ MRIは2026年度に更新予定でより幅広い共同利用を進める

(6) 経営の効率化等

- ・ 類似の黒字病院の全国指標を目標とする

地域医療構想関係の方向性

- 病床規模 44床
在宅医療のバックベッドとしても入院機能が必要であり、病院として最低水準と考えている
- 病床機能 回復期

特に課題であると考える事項

- 急激に進む人口減少等により10年後の患者数が病院としての存続を難しいものにする状況が考えられる
- 人材の確保に合わせた事業（機能）の選択・集約・効率化も考えなければならない
- 広い両磐医療圏の中で医療、介護サービスを維持していくためにどのような連携が望ましいのか、設立母体の垣根を越えて検討していく場が必要なのではないか？